

2024年3月期 第2四半期

決算説明資料

2023年11月14日



証券コード
6638



UCJV330 Series Mimaki

JF-X600-2513

Tiger600-1800TS

3DUJ-2207

3DUJ-2207

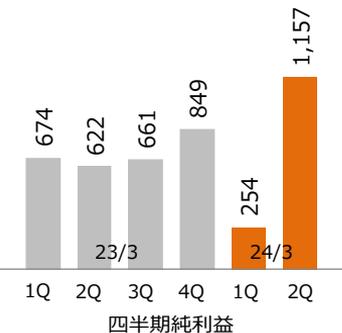
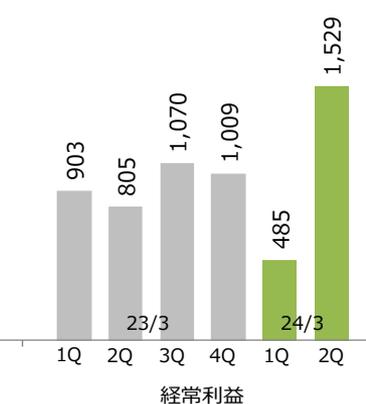
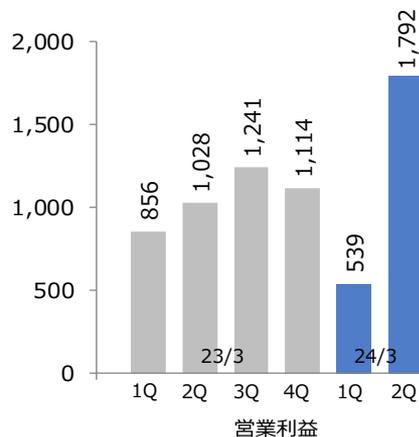
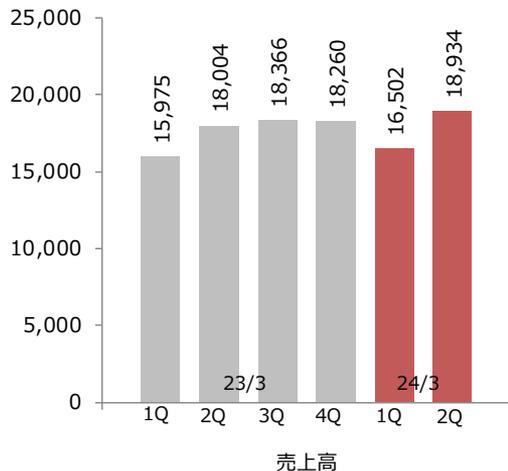
2024年3月期 連結業績

- ❖ 第2四半期・上期実績
- ❖ 2024年3月期 通期予想

連結業績ハイライト (2024年3月期 2Q実績)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期				
	2Q実績	売上高 比率	2Q実績	売上高 比率	前年同期比増減		
					金額	率	率(除為替)
■ 売上高	18,004	-	18,934	-	+929	+5.2%	+0.9%
■ 営業利益	1,028	5.7%	1,792	9.5%	+763	+74.2%	-
■ 経常利益	805	4.5%	1,529	8.1%	+723	+89.8%	-
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	622	3.5%	1,157	6.1%	+535	+86.1%	-
為替レート	米ドル	138.38円	144.63円	-	+6.24円	+4.5%	-
(期中平均)	ユーロ	139.34円	157.29円	-	+17.95円	+12.9%	-



連結業績のポイント (2024年3月期 2Q)



■ 2Q売上高

- 前年同期比 929百万円の増収(+5%、内為替影響 +780百万円)、前回予想比下振れ
- 1Qでは全般に景気後退の影響に加え、営業活動が後手に回った反省を踏まえ、2Qでは各エリアでミニ展戦略の積極展開や個別商談の着実な獲得・クロージングに取り組み、欧州はウクライナ情勢の長期化による景気停滞影響を受けたものの、北米の販売が回復、日本も好調に推移
- TAは今期市場投入したDTF(Direct to Film)機 TxF150が好調、SGも堅調に推移した一方、IPは新製品の販売が拡大した前年同期比で減少、FAも高水準な需要があった前年同期比で販売減少
- 2Qは為替のプラス影響を除いても増収に転じ、着実に挽回

■ 2Q営業利益

- 前年同期比 763百万円の増益(+74%、内為替影響 +490百万円)、前回予想比上振れ
- 売上原価率が、前期に調達した高コスト部材を使用した製品の販売が継続した一方で、輸送コストの減少や、コスト上昇に対応するための販売価格見直しを進めてきた効果もあり改善。販管費は、事業活動の活発化に伴い金額は増加の一方で、売上高比率の伸びを抑制。円安効果も加わり、大幅増益

■ 2Q末バランスシート

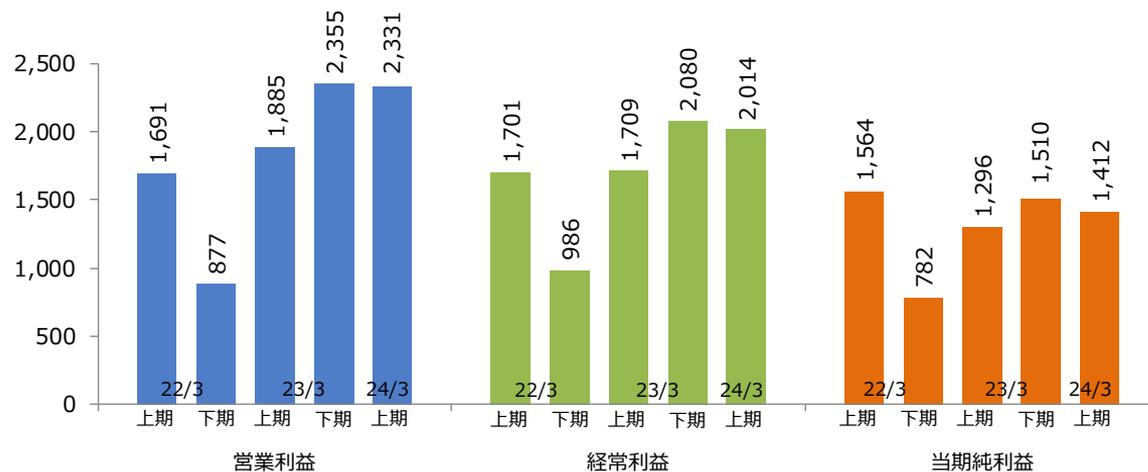
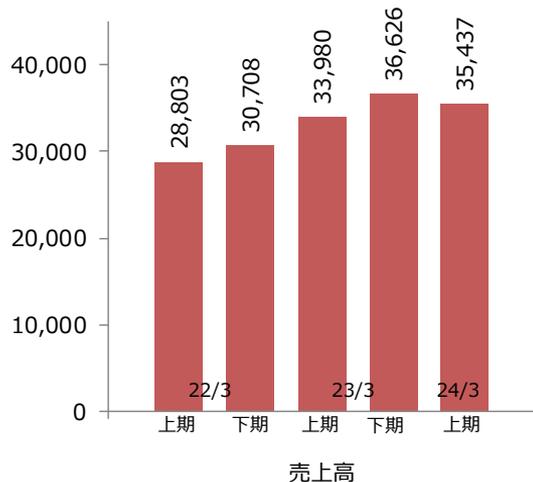
- 重点指標のCCC*は、販売の拡大、売掛債権回収の早期化、在庫削減活動等を進め、前期末比で減少
2022/9/末:5.14月→12/末:4.83月→2023/3/末:5.27月→6/末:6.09月→9/末:5.16月

*CCC : Cash Conversion Cycle

連結業績ハイライト (2024年3月期 上期実績)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期							
	上期実績	売上高比率	上期実績	売上高比率	前年同期比増減			前回予想	前回予想比増減額	
					金額	率	率(除為替)			
■ 売上高	33,980	-	35,437	-	+1,457	+4.3%	+0.3%	37,200	-1,762	
■ 営業利益	1,885	5.5%	2,331	6.6%	+446	+23.7%	-	1,850	+481	
■ 経常利益	1,709	5.0%	2,014	5.7%	+305	+17.9%	-	1,590	+424	
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	1,296	3.8%	1,412	4.0%	+116	+9.0%	-	1,100	+312	
為替レート	米ドル	133.98円	-	141.00円	-	+7.02円	+5.2%	-	135.00円	+6.00円
(期中平均)	ユーロ	138.72円	-	153.38円	-	+14.66円	+10.6%	-	142.00円	+11.38円



営業利益増減要因

(23/3期 上期 vs 24/3期 上期)



【通貨別影響額】

USD /	133.98円	→	141.00円		+209
EUR /	138.72円	→	153.38円		+528
CNY /	19.88円	→	19.75円		+10
TRY /	7.99円	→	6.02円		-116
BRL /	26.38円	→	28.70円		+64
その他 (AUD、IDR等)					+49
				合計	+746

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高1,344 - 売上原価 290 - 販管費 307 = 営業利益 746

【売上原価率増減要因】

前期に調達した高コスト部材を使用した製品の販売が継続したものの、輸送コストの減少や、コスト上昇に対応するための販売価格見直しを進めてきた効果等により改善

【販管費増減の要因】

人件費	+190
研究開発費	+144
旅費交通費	+133
支払手数料	+87
貸倒引当金	+71
賃借料	+70
その他	+78
合計	+773

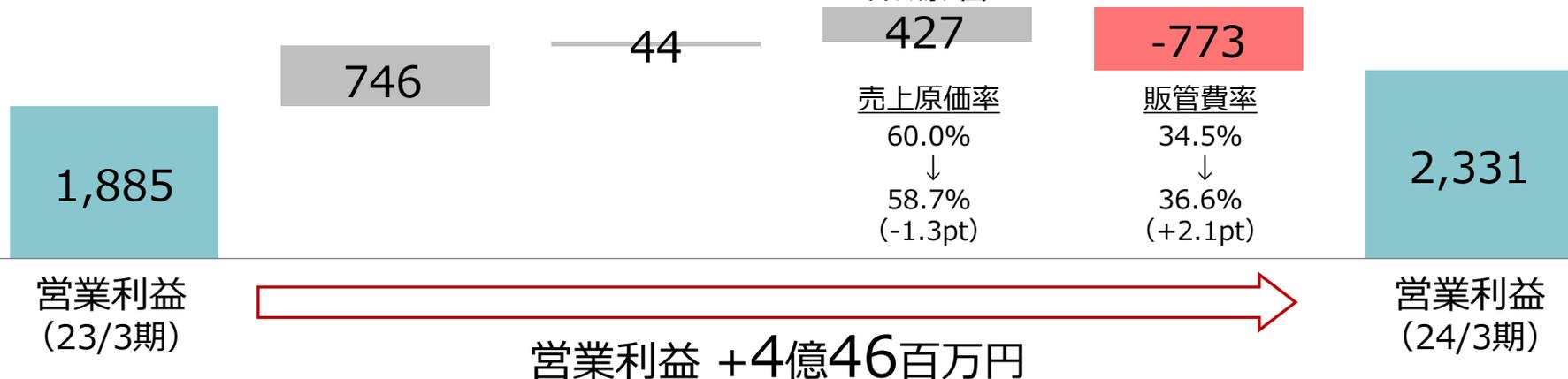
(単位：百万円)

① 為替影響

② 売上高増減影響

③ 売上原価率増減影響

④ 販管費増減影響



市場別売上高 (2024年3月期 2Q実績)



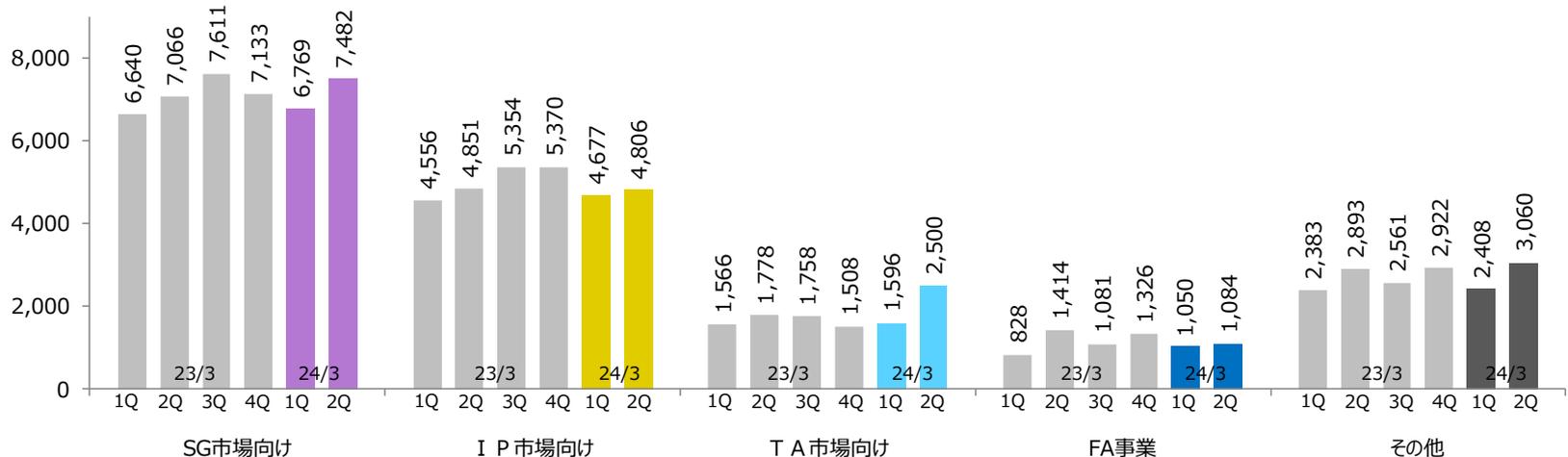
(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期				
	2Q実績	構成比率	2Q実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
■ S G 市場 向け	7,066	39.2%	7,482	+415	+5.9%	+1.1%	39.5%
■ I P 市場 向け	4,851	26.9%	4,806	-45	-0.9%	-5.4%	25.4%
■ T A 市場 向け	1,778	9.9%	2,500	+722	+40.6%	+34.0%	13.2%
■ F A 事業	1,414	7.9%	1,084	-329	-23.3%	-23.7%	5.7%
■ そ の 他	2,893	16.1%	3,060	+166	+5.8%	-	16.2%
合 計	18,004	100.0%	18,934	+929	+5.2%	+0.9%	100.0%

- SG市場向け: 本体は、既存モデルの販売が減少したもののフラグシップモデルやエントリーモデルの販売が増加、インクの販売も堅調に推移、為替のプラス影響もあり、増収
- IP市場向け : 本体は、小型フラットベッド機の販売が、新製品の販売が拡大した前年同期との比較で減少したものの、インクの販売増及び為替のプラス影響もあり、前年同期並
- TA市場向け : 当期から投入した新製品が先進国を中心に好調で本体の販売が大幅に増加、インクの販売も堅調に推移し、大幅増収
- FA事業 : 金属加工や基板実装装置の販売が増加した一方で、前年同期が需要増により好調だったFA装置、基板検査装置、半導体製造装置の販売が減少し、減収

市場別売上高 (2024年3月期 上期実績)



	2023年3月期		2024年3月期						
	上期実績	構成比率	上期実績	前年同期比増減			構成比率	前回予想	前回予想比増減額
				金額	率	率(除為替)			
(単位：百万円)									
SG市場向け	13,707	40.3%	14,251	+544	+4.0%	-0.6%	40.2%	15,692	-1,440
IP市場向け	9,407	27.7%	9,484	+76	+0.8%	-3.3%	26.8%	10,325	-840
TA市場向け	3,345	9.8%	4,097	+751	+22.5%	+17.2%	11.6%	4,021	+75
FA事業	2,243	6.6%	2,135	-107	-4.8%	-4.7%	6.0%	2,337	-202
その他	5,276	15.5%	5,469	+192	+3.6%	-	15.4%	4,823	+646
合計	33,980	100.0%	35,437	+1,457	+4.3%	+0.3%	100.0%	37,200	-1,762



エリア別売上高 (2024年3月期 2Q実績)



(単位：百万円)	2023年3月期			2024年3月期			
	2Q実績	構成比率	2Q実績	前年同期比増減		構成比率	
				金額	率		
■ 日本	5,016	27.9%	5,387	+370	+7.4%	28.4%	
■ 北米 (現地通貨 / \$)	3,679 26.5M	20.4% -	4,064 28.1M	+385 +1.5M	+10.5% +5.7%	21.5% -	
■ 欧州 (現地通貨 / €)	4,217 30.2M	23.4% -	4,211 26.7M	-6 -3.4M	-0.2% -11.6%	22.2% -	
■ アジア・オセアニア	3,331	18.5%	3,270	-60	-1.8%	17.3%	
■ その他	1,759	9.8%	2,000	+240	+13.7%	10.6%	
合計	18,004	100.0%	18,934	+929	+5.2%	100.0%	

- 日本: 景気回復による需要拡大の下、SG、IP、TAともに好調な販売が継続、FAの販売減少により増収率は低下
- 北米: 米国景気が堅調に推移する中で営業活動強化の成果もあり、TAの販売が大幅に伸長するとともに、SGの販売が回復、前年同期が好調だったIPの販売は減少したものの、為替のプラス影響もあり、大幅増収
- 欧州: ウクライナ情勢の長期化影響を受ける中、TAの販売は大幅に伸びた一方、SGとIPの販売が減少、国別ではドイツやイギリス等の主要国で販売が減少したものの、為替の円安効果により、全体では前年同期並を確保
- A・O: オーストラリアでは販売が減少したものの、中国やタイの需要回復とインド等での販売拡大により、SG、TAが伸長した一方、前年同期が好調だったFAの台湾向けが減少、全体では若干の減収

エリア別売上高 (2024年3月期 上期実績)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期					
	上期実績	構成比率	上期実績	前年同期比増減		構成比率	前回予想	前回予想比増減額
				金額	率			
■ 日本	9,181	27.0%	10,068	+886	+9.7%	28.4%	9,698	+370
■ 北米	7,110	20.9%	7,106	-3	-0.1%	20.1%	7,628	-521
(現地通貨 / \$)	53.0M	-	50.2M	-2.8M	-5.3%	-	57.3M	-7.1M
■ 欧州	8,518	25.1%	8,471	-47	-0.6%	23.9%	10,112	-1,640
(現地通貨 / €)	61.4M	-	55.2M	-6.1M	-10.0%	-	74.3M	-19.1M
■ アジア・オセアニア	5,950	17.5%	5,870	-80	-1.3%	16.6%	6,319	-449
■ その他	3,218	9.5%	3,920	+701	+21.8%	11.1%	3,441	+479
合計	33,980	100.0%	35,437	+1,457	+4.3%	100.0%	37,200	-1,762



要約貸借対照表 (2023年9月30日現在)

		2023年 3月31日	2023年 9月30日	増減額	増減率
		(単位：百万円)			
資産 の 部	現金及び預金	10,485	14,008	3,523	33.6%
	受取手形及び売掛金(※1)	12,303	12,426	122	1.0%
	たな卸資産	28,015	28,007	△8	△0.0%
	その他流動資産	2,888	2,455	△432	△15.0%
	流動資産合計	53,692	56,898	3,205	6.0%
	有形固定資産	12,011	12,449	438	3.6%
	無形固定資産	911	1,201	289	31.8%
	投資その他の資産	3,174	3,409	235	7.4%
	固定資産合計	16,097	17,061	963	6.0%
	合計	69,789	73,959	4,169	6.0%
負債 ・ 純 資産 の 部	支払手形及び買掛金(※1)	9,103	9,094	△9	△0.1%
	短期借入金(※2)	21,525	22,836	1,311	6.1%
	その他流動負債	9,515	9,381	△133	△1.4%
	流動負債合計	40,144	41,312	1,167	2.9%
	長期借入金	5,476	5,657	181	3.3%
その他固定負債	2,112	2,237	124	5.9%	
固定負債合計	7,589	7,894	305	4.0%	
負債合計	47,733	49,206	1,473	3.1%	
純資産合計	22,056	24,752	2,696	12.2%	
合計	69,789	73,959	4,169	6.0%	

❖ 資産の部 +4,169

- ・ 流動資産 (+3,205)
→現金及び預金の増加等
- ・ 有形固定資産 (+438)
→建物及び構築物の増加等
- ・ 投資その他の資産 (+235)
→繰延税金資産の増加等

❖ 負債の部 +1,473

- ・ 流動負債 (+1,167)
→支払手形及び買掛金(△584)
→短期借入金(+1,226)
電子記録債務(+575)
- ・ 固定負債 (+305)
→長期借入金(+181)
リース債務(+121)

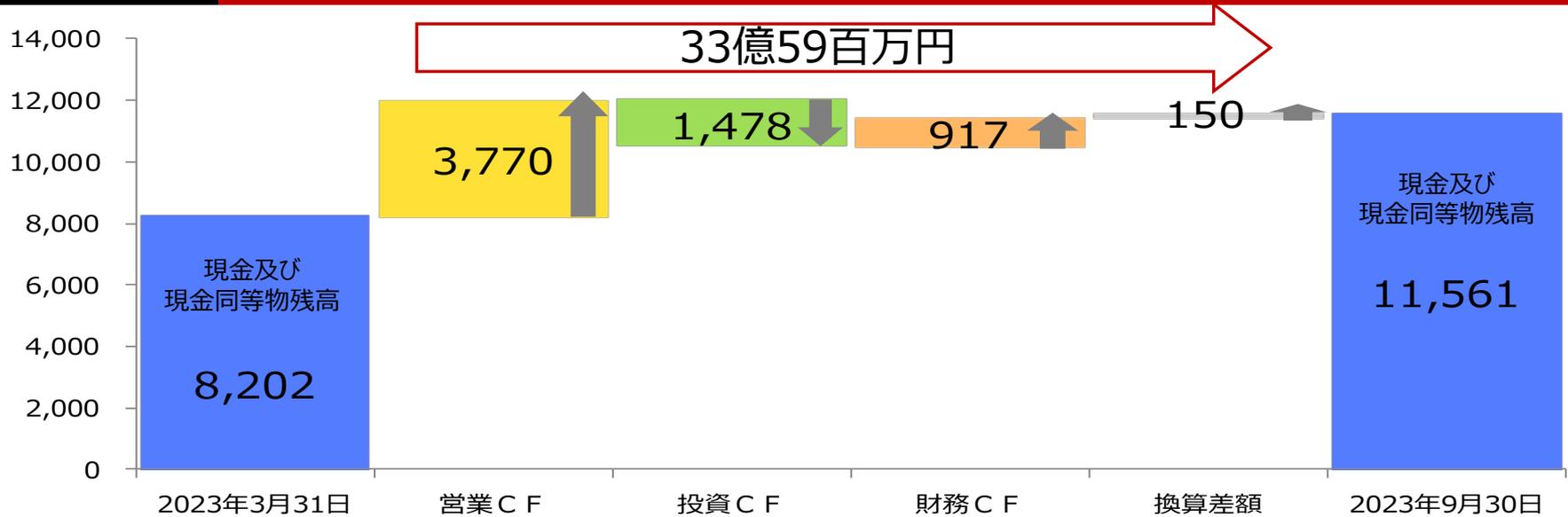
❖ 純資産の部 +2,696

- 為替換算調整勘定(+1,478)

(※1) 電子記録債権、電子記録債務を含む

(※2) 1年内返済予定長期借入金を含む

キャッシュ・フロー (2024年3月期 上期)



営業キャッシュ・フローの状況

EBITDA (※)	3,342
運転資金増加	1,338
税金、利払等	△ 910
合計	3,770

投資キャッシュ・フローの状況

定期預金の収支	△ 150
固定資産の取得	△ 1,327
その他	0
合計	△ 1,478

財務キャッシュ・フローの状況

短・長期借入金収支	1,397
配当金支払	△ 272
その他	△ 207
合計	917

(※) 利払前、税払前、償却前の営業利益

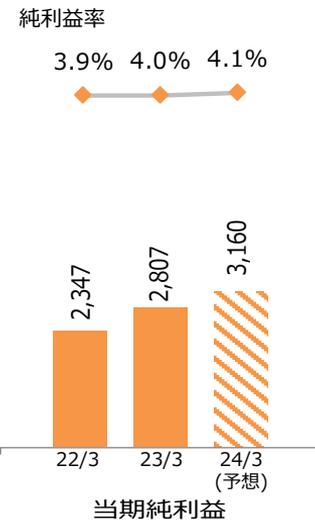
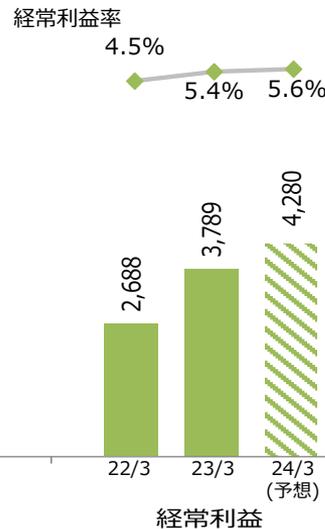
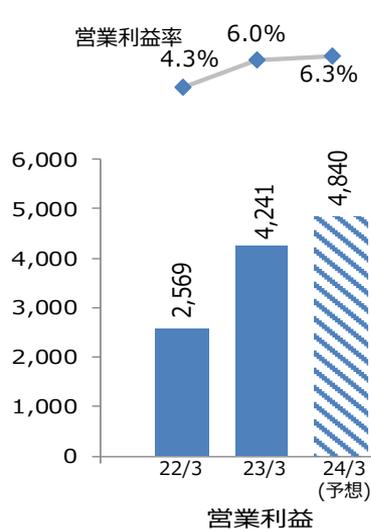
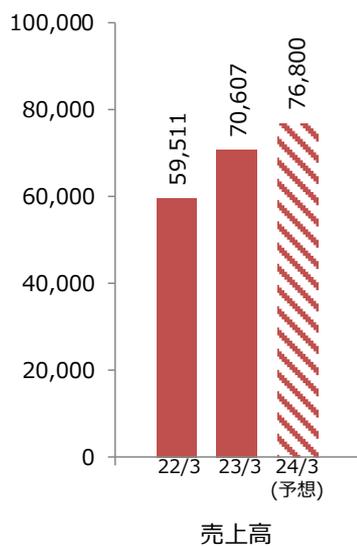
2024年3月期 連結業績

- ❖ 第2四半期・上期実績
- ❖ 2024年3月期 通期予想

連結業績予想ハイライト (2024年3月期)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期								
	通期実績	売上高 比率	下期予想 (修正・差引)	売上高 比率	前年同期比 増減額	通期予想 (修正)	売上高 比率	前期比増減			前回予想比 増減額
								金額	率	率(除為替)	
■ 売上高	70,607	-	41,362	-	+4,735	76,800	-	+6,192	+8.8%	+6.0%	-1,200
■ 営業利益	4,241	6.0%	2,508	6.1%	+152	4,840	6.3%	+598	+14.1%	-	+440
■ 経常利益	3,789	5.4%	2,265	5.5%	+184	4,280	5.6%	+490	+12.9%	-	+420
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	2,807	4.0%	1,747	4.2%	+236	3,160	4.1%	+352	+12.6%	-	+310
為替レート	米ドル	135.48円	140.00円	-	+3.02円	140.50円	-	+5.02円	+3.7%	-	+6.50円
(期中平均)	ユーロ	140.97円	145.00円	-	+1.79円	149.19円	-	+8.22円	+5.8%	-	+10.19円



連結業績予想のポイント (2024年3月期)

■ 連結業績予想の前提

① 売上高

新製品の好調な販売が持続するTAに加え、下期はSG、TAで新製品を投入するとともに、引き続き営業活動の強化に取り組む一方で、世界的な景気減速への懸念及び上期進捗を踏まえ、通期予想を下方修正する

② 営業利益

全般に不透明な要素が多いことを踏まえ、下期は期初予想並みを見込むものの、通期予想は上期の進捗を加味して上方修正する

③ 下期の為替レート前提は、USD:140円/EUR:145円に変更する

- 2023年度グループ経営方針「創造する」の下で、売上高を伸ばしつつ2025年度までに営業利益率10%を達成する「Mimaki V10」の目標に向け、引き続き全社をあげて取り組む

下期SG
新製品



UC JV330 Series
UC JV330-160/130



UJV100-160Plus

UV=Mimaki のラインナップを一層拡充

下期TA
新製品



Tiger600-1800TS

生産性当社最速の高速昇華転写プリンタ

営業利益増減要因

(23/3期 実績 vs 24/3期 予想)



(単位：百万円)

【通貨別影響額】

USD / 135.48円 → 140.50円	380
EUR / 140.97円 → 149.19円	781
CNY / 19.75円 → 19.87円	-19
TRY / 7.65円 → 6.81円	-103
BRL / 26.28円 → 27.30円	60
その他 (AUD、IDR等)	21
合計	1,122

<為替感応度 (1円/年)>

	売上高	営業利益
USD	151	75
EUR	141	95

【売上原価率増減の要因】

前期に調達・生産した高コスト部材を使用した製品の販売が進む一方で、輸送コスト減少や販売価格見直し効果等により前期並

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 1,942 - 売上原価 440 - 販管費 379 = 営業利益 1,122

①為替影響

②売上高増減影響

③売上原価率増減影響

④販管費増減影響

1,122

1,712

92

-2,329

4,241

売上原価率

59.7%



59.6%

(-0.1pt)

販管費率

34.3%



35.5%

(+1.2pt)

4,840

営業利益
(23/3期)

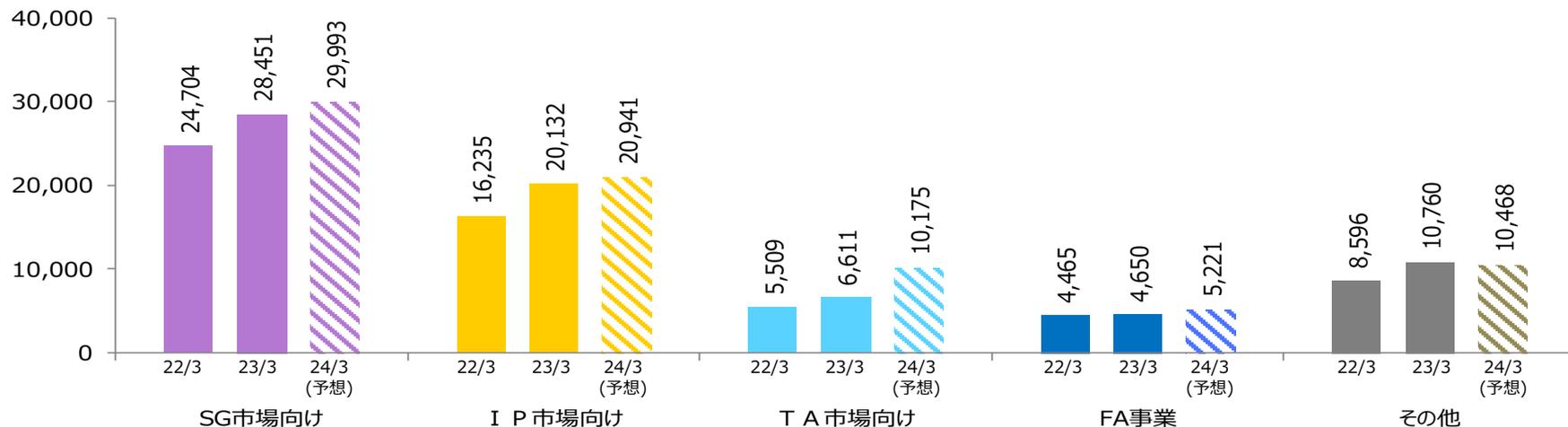
営業利益
(24/3期)

営業利益 + 5億98百万円

市場別売上高予想 (2024年3月期)



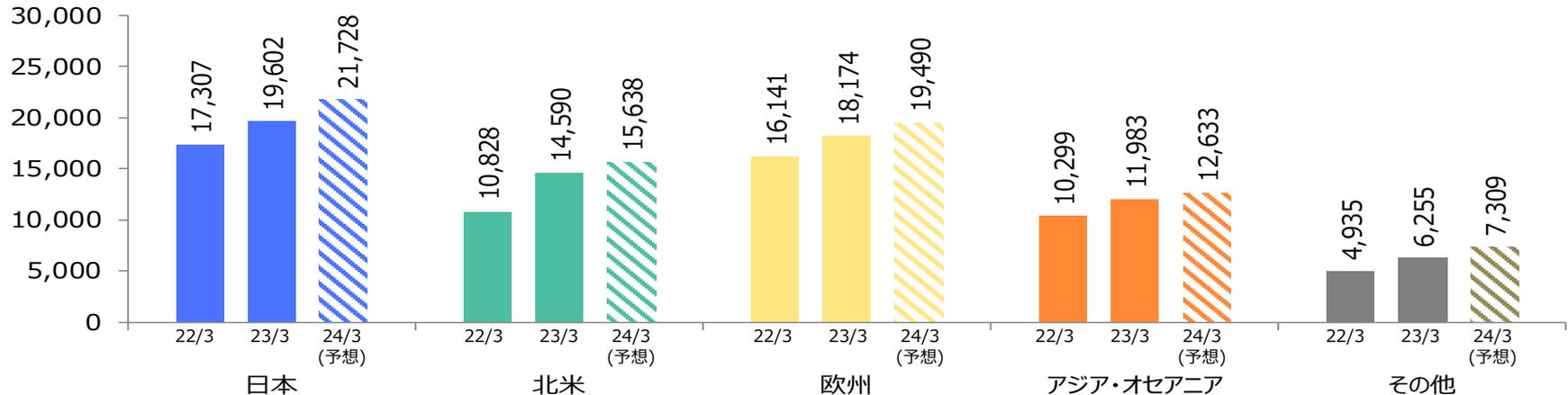
(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期							
	通期実績	構成比率	下期予想 (修正・差引)	前年同期比 増減額	通期予想 (修正)	前期比増減			構成比率	前回予想比 増減額
						金額	率	率(除為替)		
SG市場向け	28,451	40.3%	15,741	+996	29,993	+1,541	+5.4%	+2.3%	39.1%	-2,826
IP市場向け	20,132	28.5%	11,457	+733	20,941	+809	+4.0%	+1.3%	27.3%	+62
TA市場向け	6,611	9.4%	6,078	+2,811	10,175	+3,563	+53.9%	+49.3%	13.2%	+1,468
FA事業	4,650	6.6%	3,085	+678	5,221	+570	+12.3%	+12.3%	6.8%	-895
その他の	10,760	15.2%	4,999	-483	10,468	-291	-2.7%	-	13.6%	+990
合計	70,607	100.0%	41,362	+4,735	76,800	+6,192	+8.8%	+6.0%	100.0%	-1,200



エリア別売上高予想 (2024年3月期)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期							
	通期実績	構成比率	下期予想 (修正・差引)	前年同期比 増減額	通期予想 (修正)	前期比増減		構成比率	前回予想比 増減額	
						金額	率			
■ 日本	19,602	27.8%	11,659	+1,238	21,728	+2,125	+10.8%	28.3%	+1,040	
■ 北米 (現地通貨/\$)	14,590	20.7%	8,532	+1,052	15,638	+1,048	+7.2%	20.4%	-101	
	107.6M	-	60.9M	+6.3M	111.1M	+3.4M	+3.2%	-	-7.2M	
■ 欧州 (現地通貨/€)	18,174	25.7%	11,019	+1,364	19,490	+1,316	+7.2%	25.4%	-1,955	
	128.9M	-	75.9M	+8.5M	131.2M	+2.3M	+1.8%	-	-26.4M	
■ アジア・オセアニア	11,983	17.0%	6,762	+729	12,633	+649	+5.4%	16.4%	-641	
■ その他	6,255	8.9%	3,388	+351	7,309	+1,053	+16.8%	9.5%	+457	
合計	70,607	100.0%	41,362	+4,735	76,800	+6,192	+8.8%	100.0%	-1,200	



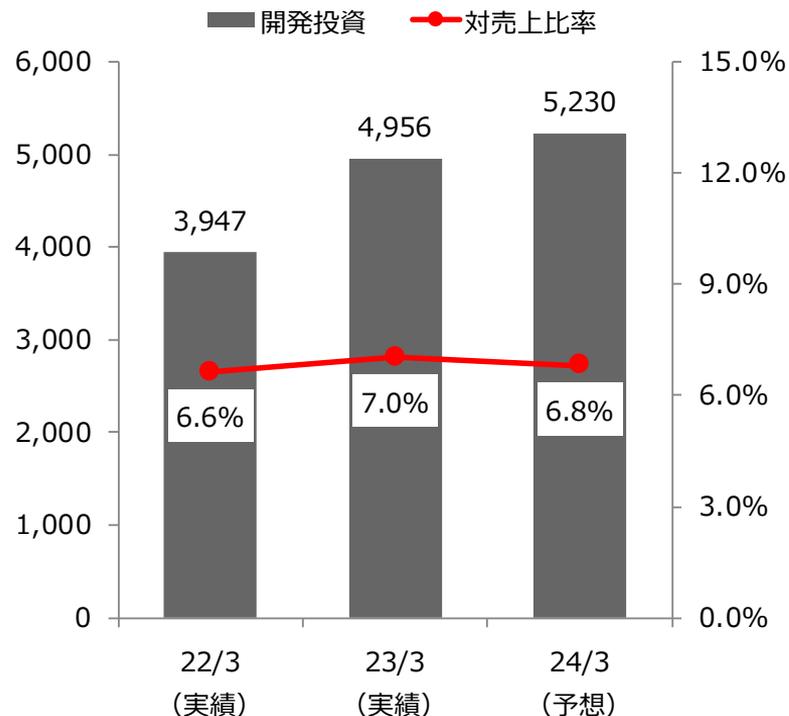
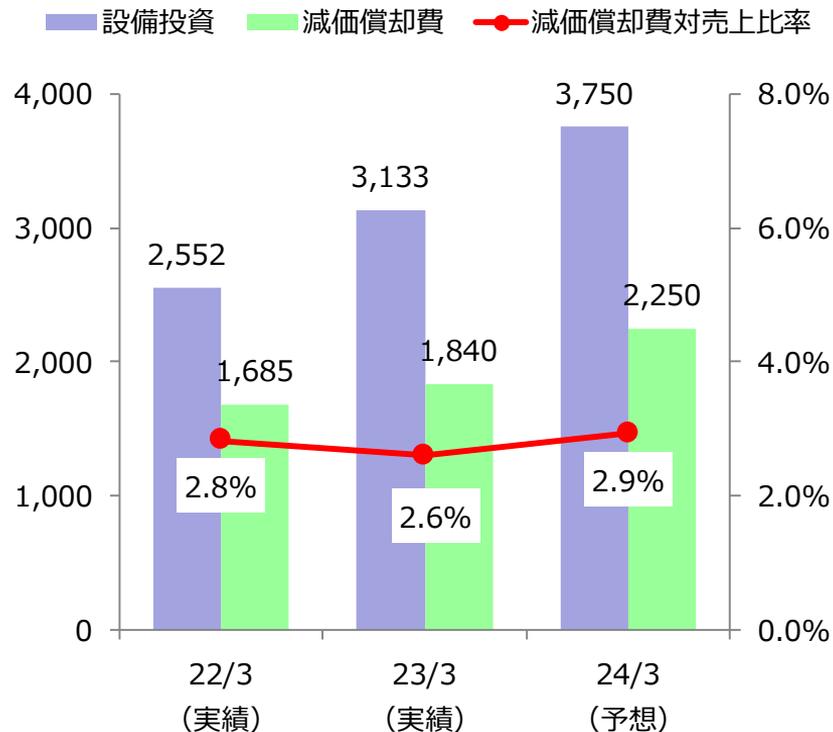
設備投資、減価償却、開発投資予想

(2024年3月期)



(百万円)

(百万円)



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元

株主還元の方針

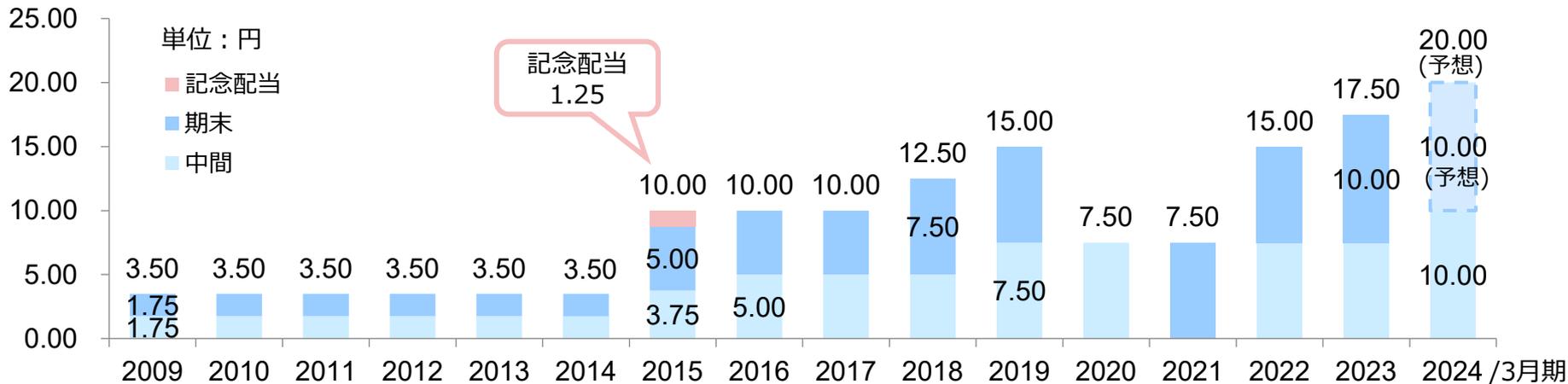
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2023年3月期 中間：7.5円、 期末：10.0円

業績及び今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年17.5円に増配

■ 2024年3月期 中間：10.0円、 期末(予想)：10.0円

当期の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年20.0円に増配



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は訴求修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(3442)5035

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。